

令和7年度 猪野瀬地区市長と語る会 議事要旨

■日 時 令和7年9月3日（水）午後7時00分～午後9時00分

■場 所 猪野瀬こうみん館

■出席者 31名

■意見交換会でのテーマ：高齢化・人口減少による自治会のあり方、統合後の南部中学校の活用について

1. 市政報告会

1) 高齢者の移動手段について

質問

デマンドバスの停留所が北郷や荒土で増えたと聞くと、家から停留所までの距離も配慮してほしい。猪野瀬の老人会の世話をしているが、家から停留所まで歩くのが大変だという声を聞く。できれば玄関から目的地までタクシーのような形で移動できるようになると良い。将来的にやって良かったという仕組みにしてほしい。

移動販売の促進をしていただきたい。高齢者にとって一番困るのが病院と買い物。移動販売で近くに来てもらい買い物できる方法が一番ストレスがたまらなくて良いのでぜひお願いしたい。

また、電動付自転車やシルバーカーの購入補助があれば良い。高齢者にいかに外出してもらうかと考えるのが大事だと思う。

福祉バスに関しては、かなり使いやすくなり本当にありがたい。高齢者でも簡単に移動ができ、こういう手段でここまで行ける、行った場所で勉強や交流ができるということをどんどん推進してほしい。

回答

デマンドバスの考え方としては、各住宅の場所に円を描き一定の距離にバス停を設置している。もちろんドアtoドアが理想ではあるが、デマンドバスの運行には一定の制約もある。その中で出来るだけ使い勝手の良いものにしたい。

移動販売に関しては、昔は農協の移動販売車が走っていたり、今は宅配や配食を利用している人も増えていると思う。市外では補助金を出して走らせているところもある。そういった状況を頭において検討していきたい。

電動車椅子の進化版のような形で、電動三輪車や四輪車は補装具として障がいのある方の給付の対象になっている。シルバーカーへの補助に関して今後必要に応じて考えていきたい。

福祉バスに関しては高齢者の方が使いやすいように、市議会をお願いをして、駅からの距離や、公共施設を回らないといけないというような制約があったが、ほとんどの制約を撤廃した。撤廃したからと言って使える回数が増えるわけではないが、これまで使えなかった市外の大会への出場が可能になった。市高連からの要請も請け、改正もしたため、これからも活用してもらいたい。

2) 訪問介護事業所について

質問	25年以上、寝たきりの夫を介護し訪問入浴を利用していた。6月までは訪問入浴をやってもらえたが、6月から奥越の介護施設は訪問入浴の事業をやめてしまった。行政としてどうかしてほしい。利用できなくなった人たちが、どのようにして自分の体の保清をしているのか把握してほしい。
回答	訪問入浴介護は、介護士2名と看護師1名で自宅へ行き入浴を行う。継続させるために施設と色々な話をしたが、どうしても人の確保ができずやめてしまった。実は、訪問入浴に限らず、市内の介護施設は介護士不足のため利用者を定員まで入れられないような状態である。どこの施設も外国人を雇ったりしているがそれでも足りない。訪問介護を打ち切られた人の一部はデイサービスに変わった人もいる。しかし、様々な事情からそれが難しくて清拭になっている場合もある。個別のケースを除いて全体としての把握はしている。 訪問入浴の再開に向けて方法を探っているところだが、お金ではなく人員の不足がネックになっており、その解消のために広域化という方法もあるが、勝山市の人口減少や人手不足の今、それも難しい。ご迷惑をおかけして申し訳ない。
質問	訪問入浴者は、弱者の中の弱者なのでどうかして再開してほしい。人員の問題も外国の人にばかり頼るのではなく、定年後の元気な人たちが働けるよう声掛けしてほしい。
回答	高齢化が進んでいるといっても、見方を変えると65歳、70歳をすぎても働ける時代になっているということ。シルバー人材センターなども含めて活用していきたい。訪問介護については、もう少し踏み込んだ対応ができないか市でも検討する。

2. 意見交換会

1) 高齢化・人口減少による自治会のあり方について

事前質問	体協も含めて地域活動が年々衰退してきている。その中で、単独区では成り立たない現状もあり、自治会運営が危惧される。自治会の見直しも含めてどのように対応すべきか。
回答	自治会の戸数が減少したからと言って、複数の区が合併するにはハードルが高いと考えている。まずは行政協力員制度の見直しをして、現在区長に委嘱している行政協力員に関して、人口規模に適した設置ができればよいと思っている。地区でも話し合いをしていただき、希望する区から協議を進めていきたい。 小規模多機能自治として、地域が様々な地域課題に対して取り組むことを推進しているが、まちづくり会館等を活用した相談サポートを充実させたい。まちづくり会館をはじめ地域担当職員が皆様のサポートをさせていただくのでご活用いただきたい。 にこにこ地域づくり交付金に関しても積極的に地域課題解決のためにご活用いただきたい。

質問	子ども時代にいろいろな経験をしたものが次の世代にその経験を活かして続いていくと思う。昔は子どもの数が多く、子どもだけの活動も盛んだった。今は人数が少ないために、あらゆる団体の活動が低調になっている。子ども時代に何もやったことがない人が、大人になって急に活動を始めてもやりきれない。だんだん物事が最低限になっている。一方では、高齢化によりいつまでも働かなければならなくなっており、地域へ貢献したいができない人も多い。昔と比べると、全体が何も経験しないまま大きくなる可能性が高い時代になっている。どこに期待したいかというと学校に期待したい。学校の先生に1から10までやってもらうという意味ではない。学校で地域で活動する時間を設け、その指導に必要な地域の方が出てくるのが良い。全て地域に任せても、子どもを十分指導をしきることとはできない。学校と地域が相互に協力することが重要。 能登の地震では1回の地震で人口が著しく減ったが、25年スパンで見ると勝山市も同じような減り方をしている。25年かかって大災害が起きているようなもの。本気で人口問題を研究し、あらゆる角度からデータを集め、取り組んでいかないと、勝山は大変な方向に行くと思う。
回答	おっしゃるようであり、25年スパンで1世代が代わるので、今生まれる子供の数が我々の頃と比べて1/8に減少している状況で、やはり集落ごとでなく小学校区、まちづくり会館の区域、小規模多機能自治の区域の中で様々な子どもの活動をするというのも一つの方法かと思う。いただいたご意見は持ち帰り参考にさせていただく。
質問	中山間地の農業は草刈りが大変な作業である。若者は親の大変なところばかり見ているため、農業から離れてしまう。中山間地、獣害対策、地盤整理にも目を向けてもらいたい。若者が農業をやりたくなるような仕組み作りも大事だと思う。
回答	中山間地域で農業する人がいなくなると、中山間地域のコミュニティの生活そのものが成り立たなくなる。コミュニティを維持するためには、中山間地域における農業支援は重要だと思っている。その一つの核となるのが、畦畔の草刈り、害獣対策であり、市としても同じような危機感を持っている。しっかりと中山間地域の農業を守り、産業として農業を支援していきたい。
2) 統合後の南部中学校活用について	
事前質問	統合後の南部中学校の校舎・グラウンドの姿が示されていなく説明がほしい。

回答	勝山中学校は令和9年4月1日に開校し、勝山南部中学校については令和9年3月31日に閉校する。現時点では、3中学校の学校敷地を市の所有とするために、地権者の方との交渉を進めている。具体的な活用方法は決定していないが、現在、庁内で跡地の検討をしており、会議を定期的に開催している。例えば民間事業者に活用いただくことや住宅地にすることなどを含めて検討している。市民の皆様からは住宅団地の造成や屋外運動施設等のご提案をお聞きしている。現時点では、市の公共施設として活用することは考えていない。一方で体育館については、避難所や社会体育の場として、残してほしいといった声もあり、安全安心の観点や市民の健康増進の場という観点から検討しているところ。今後も皆様のご意見やご提案をお聞きして、それを反映した方針を提示させていただきたいと考えている。
質問	猪野瀬地区は南部中学校のグラウンドで町民運動会を行っており、グラウンドは残していただけるとありがたい。体育館は災害時の避難所として、また、長期間避難することも想定して、調理室や図書室がある校舎をそういった場所に活用できないか。
回答	意見は持ち帰り検討したい。グラウンドや体育館の活用は、その他の公共施設とのバランスも考える必要がある。地震への対応は今年度の地域防災計画の大きな要としている。実際に能登半島地震や、阪神淡路、東日本大震災の様子も見えてきており、地震が発生した際、発生した場所の避難状況など現実的なものも加味しながら、どの程度のもを確保すべきか考えながら取り組んでいきたい。これまでの雨、雪による災害だけでなく、地震対策については一歩踏み込んでしっかりと対応していきたい。

3) 簡易宿泊施設について

質問	先ほど息子から電話があり「コンビニで宿がなく困っている外国人に会った。泊めてやってほしい」と言われた。ちょうど不在にするところだったので断ったが、外国人や旅行者が自分で自炊しながら泊まれるような場所があってもいいと思った。
回答	今市内で民泊や簡易宿泊施設が増えている。外国人はインターネットで予約サイトを通じて宿を探している。バックパッカーのような方がいるということも含めて考えていきたい。いずれにしても、外国人をはじめ旅行者への対応は、観光面でも大きな期待もあるので、市民の方に拒否されないような形で受け入れる体制をとっていきたい。

4) 勝山南部中学校跡地の提案について

質問	勝山南部中学校の跡地を防災の基地にしてはどうか。自衛隊の車を置いたり、グラウンドにはヘリポートやドローンを置くことができる。教室にテントや非常食を置き、誰が行っても分かる形にすると良いのではないか。場所的にも荒島の道の駅も近く、勝山市内への物流も可能。グラウンドがあれば車中泊ができ、プールに水を貯めて防火水槽にもできる。猪野瀬地域にとっては、防災時に南部中学校が使用できることで、安心なまちができると思う。できれば高齢者のために各階にエレベータをつけると良い。 南部中学校のグラウンドを正式な市のグラウンドにしてはどうか。現在も様々なスポーツに使われており、これを活用することで猪野瀬がさらに活性化する。 南部中学校跡地に市役所を持ってきてはどうか。今の市役所は迷路のようで分かりにくい。今の市役所の跡地に大きな駐車場とトイレを整備することで、勝山市がさらに発展すると思う。
回答	いくつかおっしゃった中には、市が南部中学校の跡地を検討する中で考えている案がいくつかあった。実現が難しいご提案もあったが、全てご意見として持ち帰り、検討していきたい。

5) 特色ある教育について

質問	徳島県神山町に4人の若者が中心になり、廃校になった中学校を使って日本で初めての私立の工業高等専門学校をつくった。全国から生徒を集めており倍率は9倍で卒業生の4割以上を起業家に育てるといふ。こういった最先端の学校を誘致したりつくったりしても良いと思う。勝山の子どもが全員勝山高校に行ったところで、2クラスあるかないかの学校になる。勝山の教育が行き詰りそうなところを先手を打って、勝山ならではの教育を考えてもらいたい。
回答	一度視察に行ってみたい。ご意見いただいたことを含めてしっかりと考えていきたい。

6) 新中学校建設の中断について

質問	新中学校建設について、30日間の工事延長の記事を見た。それに関して3,970万円の支出増加が生じたというが、自分たちが負担しないといけないのか。
回答	新中学校の工事中断に関しては、土壌汚染対策法という法律に基づくもので、本来昨年のうちに届出をしなければならなかったものを失念していたことにより、業者に約4,000万円の損害を支払うことになった。法律についての確認を怠ってしまったことで工事が遅れ損害が発生したことについて深く反省している。質問の主旨である4,000万円をどうするのか、については国家賠償法により市が支払うことになっている。職員への求償に関しては、職員が故意に悪質に損害を与えたかがポイントになるが、内部での調査の結果、故意にはあたらないため個人に賠償を求めることはできない。また市として三役は減給、政策幹級課長級の職員には訓告処分を科している。

7) 部活動の地域移行について

質問	部活動の地域移行に関して、部活動であれば生徒が怪我をした際、学校保健会の保険の対象だが、クラブだと全て保護者の負担になる。クラブに対する助成金制度があり、県から各市町村に配布されていると聞いたが、勝山市でもクラブには助成されているのか。いくつかのクラブに聞いたが、市からは申請すれば良いという返事しか返ってこないという。それに対しての調査はしているのか。ある市に聞くと、助成金を使って生徒のバスによる送迎をしていると聞いた。
回答	部活動の地域移行に関しては、教育委員会の方で各スポーツ協会や連盟に対して、土日に指導してもらえないか調査・依頼をし、応じていただける協会・連盟に補助している。

8) 市職員の対応について

質問	職員の対応に関する苦情をあちこちから聞く。担当課が分からずに職員に聞いたら「こちらの担当ではありません」と突っぱねられ、その後の案内が一つもなかったと言う。職員の処遇を伺いたい。
回答	まず職員の対応に関して、市民の方の気分を害したことについてお詫び申し上げる。市としては職員の接遇研修等を行っているが、今後も引き続き職員に対しては、市民への対応について注意喚起並びに研修を引き続き行っていきたいと思っている。
回答	今後、改めて各所属長を集め話をし、市民への接し方について指導を行っていく。
質問	職員の対応に関連して、市に納めるべき税金があるが、私自身2年前の支払いが未納だという通知が来た。2年も前のことで領収書はないと伝え、当時の担当者は異動していると言う。人事異動があったとしても1年次ごとに精査・決算をしているはず。2年も前のことを言われてもと思ったが、担当者は涼しい顔をして「すみません。異動があったので、私も分からないのですが」と。そういった対応はおかしいと感じた。
回答	しっかりと調査をして対応したい。

9) その他

質問	高齢者連合会の運動会がジオアリーナであったが、ローリングシートを敷くのが大変だった。何か良い方法や応援等があると良い。
回答	ジオアリーナの体育館を土足で使用するのであればシートを敷いて使用いただくことになる。それにかかる手間が市高連という組織の特殊性から大変負担になっているという話だと思うので、今日はそういう話があったことを持ち帰りたいと思う。
質問	市民交流センターの2階ホールの蛍光灯が切れておりみっともない。せっかく良いホールがあるのだから、LEDにしてすべて点くようにしてほしい。

回答	明日にでも確認する。
質問	ホテル勝山の改修の状況について、解体には莫大な費用がかかると聞いたが、費用と今後の進め方について伺いたい。
回答	市の所有ではないが、取り壊しをしたいということで数年前に見積をとったことがある。当時で取り壊しに約1億5千万かかることが分かった。しかし、予定以上に施設が頑丈であったことや、ここ数年で急激に取り壊しに係る費用が上がり、今は3億5.6千円を超える額になった。いろいろ考えたが、国から半分助成がもらえたとしても、他に優先事項がある中で、市の所有ではない施設に1億8千万円かけて取り壊しを行う決断ができず、白紙に戻った状態である。今後も検討は続けていく。
質問	猪野口から行くと雑木林があったりススキの山が続いている。七里壁は自然が姿が良いのか、壁がはっきり分かる方がよいのかなどに判断はあると思うが、伐採しても良いのだろうか。
回答	七里壁に関しては文化的な面だけではなく、自然環境や地質的な面から保全・保護をしている。よくイメージする丸石を積んだ壁、神明神社から義宣寺までの間は崩れたところを補修などしているが、今おっしゃった河岸段丘としての七里壁については、改修に対して市が制約をしたりしているということはないと認識している。